

研究に関する公開情報

公立陶生病院では、以下にご説明する研究を行うことを計画しています。この研究では通常の診療で得られた過去の情報を使用します。本研究に診療情報を使用されることを望まない方は、下のお問い合わせ先に申し出ただけでしたら、その方の診療情報を収集することはありません。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。また、この研究は当院のみで実施されます。

[研究課題名] 結核初回治療におけるレボフロキサシン(LVFX)併用の有効性と安全性の検討

[当院研究責任者] 部署名 感染症内科 氏名 武藤 義和

[研究の背景・目的] レボフロキサシン(LVFX)は結核の初回治療が副作用などで継続できなくなった患者さんに2番目に使用される抗菌薬の一つです。国内の報告でもその有効性が評価され、2015年8月より保険収載となっています。海外では治療成績に関する報告は多々出ておりますが、国内ではまだその初回治療における効果はあまり報告されていません。保険収載されて3年が経過し、使用される患者さんも増加されているため、今回レボフロキサシンを含む結核治療を開始した患者さんへの有効性と安全性に関して解析いたします。

■研究の対象となる方

2015年5月から2018年4月に公立陶生病院に受診もしくは入院した患者のうち、肺結核として入院されてレボフロキサシンを初回治療から導入された患者さん。

■ご協力頂く内容

上記期間に診療上得られた検査データと、診療録に記録された診療情報(年齢、性別、身体所見、症状、採血検査、画像検査、生理検査結果、治療経過など)を研究に使用させていただきます。それらの使用に際しては、研究代表者がこれを管理し、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されることはございません。診療以外での採血など、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

■個人情報に関して

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。また、本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■お問い合わせ先 公立陶生病院 電話番号 0561-82-5101

研究代表者 感染症内科 武藤 義和